

噛む女 (1988)

メディア 映画

ジャンル サスペンス ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 102分

初公開日 1988/07/01

公開情報 シネ・ロップニカ

【解説】

結城昌治の同名小説を、荒井晴彦が脚色し神代辰巳が映画化。につかつロマン・ポルノに代わる新ブランド「シネ・ロップニカ」の第一弾として製作された。

アダルトビデオ制作会社の社長である古賀雄一は、妻と娘がいながら、女遊びと夜遊びを繰り返していた。友人からの依頼でバラエティ番組に出演した彼は、テレビを見たという小学校の同級生から連絡を受ける。同級生の名は早苗といい、雄一は彼女と会ってさっそくホテルで関係を結んでしまった。その日から、雄一の行く先々で無言電話がかかってくるようになる。不審に思った雄一は早苗のことを興信所に調べさせるが、早苗はすでにこの世にいないことが判明。彼女は早苗の名をかたった偽物だったのだ。

【クレジット】

監督	神代辰巳
プロデューサー	山田耕大
原作	結城昌治
脚本	荒井晴彦
撮影	篠田昇
美術	菊川芳江
編集	鈴木暁
音楽	小六禮次郎
助監督	佐藤敏宏
出演	桃井かおり Kaori Momoi 古賀ちか子 永島敏行 古賀雄一 平田満 山崎光太郎 余貴美子 海老野早苗 加藤善博 角田祥平 楠田薫 文江 前川麻子 角田梢 飛田ゆき乃 長谷川初美 立原友香 大林ひろみ 木築沙絵子 工藤静子 竹中直人 上村 戸川純 理恵 北見俊之 小島 田原正浩 村田

渡辺麻衣
大江徹
芹明香
絵沢萌子
立石涼子
伊藤昌一

咲也子
包丁を持った男
追われる女
飲み屋のおばさん
司会者
ディレクター